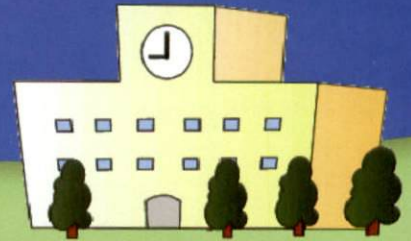


ワークショップ



# 教育現場で生と死に 向き合うには？

参加費  
無料

主催：NPO 法人仙台グリーフケア研究会

日時：2014 年 2 月 22 日（土）  
13 時～17 時

会場：子どもグリーフサポートステーション  
仙台市青葉区中央 3-6-7  
東日本建物仙台駅前ビル 6F

講師：尾角 光美 氏

一般社団法人リヴオン代表

定員：30 名

対象：子ども・若者の教育に携わる方

締切：2 月 17 日（月）16 時まで

お申込み方法

メールにてお申し込みください。

[grieffoffice@gmail.com](mailto:grieffoffice@gmail.com)

件名に【2 月 22 日研修申込】、  
本文に【氏名・所属・電話番号】を  
明記の上、送信してください。  
右記の QR コードもご利用できます。



お問い合わせ：NPO 法人仙台グリーフケア研究会 事務局  
Tel:070-5548-2186 Mail:grieffoffice@gmail.com



主催：NPO 法人仙台グリーフケア研究会 共催：NPO 法人子どもグリーフサポートステーション  
後援：宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、河北新報社、NHK 仙台放送局、  
ミヤギテレビ、TBC 東北放送、仙台放送、KHB 東日本放送、朝日新聞仙台総局、  
毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局（申請中）

## 講師プロフィール



尾角 光美氏  
一般社団法人リヴオン代表

2003年19歳で母を自殺により亡くす。翌年より3年間、あしなが育英会で病氣、災害、自殺、テロ等による遺児たちのグリーフケアに携わる。2006年以後、自殺予防や遺族のケアに関して、全国の自治体、学校などから呼ばれ、講演・ワークショップを開催し、特に自殺予防教育も兼ねた「いのちの授業」は中学生から大学生までを対象として自分と他者の「いのち」をどう支えていくのかについて考えるきっかけを届けている。

2009年リヴオン立ち上げ『102年目の母の日』（長崎出版）編著。毎年母を亡くした人たちに母の日を届ける。同年自死遺児支援スタート。昨年寺院とNPOの協働を表彰する浄土宗第5回「共生・地域文化大賞」において「共生優秀賞」受賞。リヴオンは死に直面した誰もが、必要とするサポートにつながる社会の実現を目指している。

グリーフから希望を



## 死と生を共に考えたとき、いのちが感じられる

- クラスのあっちゃんのお母さんが亡くなった。乳癌だった。それを聞いたクラスのPTAは、連絡網を使いこいう情報を流した。

『あっちゃんのお母さんが亡くなったが、子ども達に変な噂をすると困るのでは、その話しは学校でしない様にと、子どもに言って下さい。』

- 学校では、あっちゃんが1週間の忌引きの後、寂しい顔をしてポツンと机に座っていた。子ども達は、声をかけたかったが、お母さんから、「言うな」と言われていたので、声をかけなかった。担任の若い先生は、どう声をかけたら良いものか、困ってしまったが、誰にも相談できなかった。

あなたは、あっちゃんになんて声をかけますか？

あっちゃんとどんな時間を過ごしますか？

尾角光美氏のワークショップを通して、皆さんで考えましょう。

## アクセス



## 会場：子どもグリーフサポートステーション

- 仙台市営地下鉄 仙台駅 中央2番出口より徒歩1分  
ヤマダ電機地下のエスカレーターをご利用ください
- JR仙台駅より徒歩5分  
仙台ロフトわきのペDESTリアンデッキをご利用ください